授業科目名	JavaScript	学年	2	学 科	ITビジネス科	年度	2026
担当教員名	押川 知寛					実務経験	有
授業の方法	演習	科目区分	必修	学期	通年	単位数	1	時間数	30
実務 / 指導経験	システムエンジニアとして、システム開発に従事。また、情報セキュリティスペシャリスト試験、応用情報技術者試験、基本情報技術者試験、情報セキュリティマネジメント試験、G検定などの資格を保有。						
授業の概要 :実務/指導経験を活かした教育内容	本科目では，クライアントサイドで実行されるJavaScriptの特性を理解し，ユーザ操作に応じて動的に変化するWebページの実装技術を習得する。JavaScriptの基本構文に加え，配列・オブジェクト・関数といった重要な要素を体系的に学ぶことで，現代的なWeb開発の基礎を身につける。						
授業の 到達目標	1. Webアプリケーションにおけるサーバサイドとクライアントサイドの違いを理解し，説明できる。 2. JavaScriptにおける配列・オブジェクト・関数の概念を理解し，適切に扱うことができる。 3. DOM操作を通じて，ユーザ操作に応じて動的に変化するWebページを実装できる。						
成績評価の方法	方法	定期試験:60% ・ 平常点:40%　　※前期と後期で評価し、その平均が通年評価					
	基準	優(100～90) ・ 良(89～70) ・ 可(69～40) ・ 不可(39～0)					
準備学習・事後学習等	・日常で利用しているWebサイトの「動き（入力チェックや表示の変化）」を観察し、どのような条件で動いているか論理的に書き出しておくこと。 ・授業で扱った基本構文とHTML操作を組み合わせ、ライブラリに頼らず「素のJavaScript（バニラJS）」だけで独自の動的ギミックを再現実装すること。						
テキスト	有	1冊ですべて身につくJavaScript入門講座［SBクリエイティブ］					
参考書等	無						
その他 :学生に対する要望、メッセージ等	JavaScriptは，私たちが日常的に利用している多くのWebサービスを支える中核的な言語です。UI/UXを実現するクライアントサイド技術として重要な役割を担っています。本科目では，その基礎を学び，現代のWeb開発を支えるしくみについて理解します。						

授業計画

	内容		
1	ガイダンス		
2	コンソール		
3	コンソール		
4	変数・定数とデータ型		
5	変数・定数とデータ型		
6	変数・定数とデータ型		
7	制御構造と条件分岐		
8	制御構造と条件分岐		
9	制御構造と条件分岐		
10	制御構造と条件分岐		
11	反復処理と無限ループ		
12	反復処理と無限ループ		
13	反復処理と無限ループ		
14	配列の基本と活用		
15	配列の基本と活用		
16	配列の基本と活用		
17	配列の分割代入		
18	配列の分割代入		
19	オブジェクトの構造		
20	オブジェクトの構造		
21	関数と再利用性		
22	関数と再利用性		
23	関数と再利用性		
24	アロー関数の習得		
25	アロー関数の習得		
26	配列メソッドと動的描画		
27	配列メソッドと動的描画		
28	DOM操作:取得と書き換え		
29	DOM操作:取得と書き換え		
30	イベント駆動の完成		